

横浜市交通政策推進協議会  
第16回モビリティマネジメント推進部会 会議要旨

日時	令和2年8月28日（金）18:00～19:30
開催場所	横浜市役所18階共用会議室（みなと4）
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廣瀬 哲哉（横浜の公共交通活性化をめざす会）</li> <li>・ 石山 典代（横浜交通まちづくり協議会）</li> <li>・ 古川 洋（特定非営利活動法人横浜にLRTを走らせる会）</li> <li>・ 小池 由美</li> <li>・ 渡邊 聡</li> <li>・ 大西 智樹</li> <li>・ 横浜市都市整備局都市交通課（事務局）</li> </ul>
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 部会長及び親協議会市民委員推薦について</li> <li>(2) 令和元年度の活動振り返り及び今年度の取組について</li> <li>(3) その他</li> </ul>

**議事要旨**

※以下、モビリティマネジメント→MMと記載

(1) 部会長及び親協議会市民委員推薦について	<p>前回、第15回MM部会において、部会長の小田部委員（横浜の公共交通活性化をめざす会）が退任となったため、新たな部会長を決定する必要があった。意見交換を行ったところ、古川委員（特定非営利活動法人横浜にLRTを走らせる会）が新たな部会長として着任することとなった。</p>
(2) 令和元年度の活動振り返り及び今年度の取組について	<p>事務局が資料2「1. 継続案件」の説明を行った。 各委員から資料2「2. 新規案件」について説明があった。</p>
(議事要旨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続案件1は、バス事業者から2回目の回答があった。それを踏まえ、何ができるかを引き続き検討する。作成したQRコードの取扱いはバス停への掲示にこだわる必要は無く、例えば、持ち運べるサイズに印刷する・バス車内に置く・店舗チラシなど目につきやすい場所へ掲載する・横浜市ウェブやバスポータルに掲載する・使い方講座を開くなど、周知の方法を引き続き検討することとなった。</li> <li>・ 継続案件2について、今年度も出前授業の募集を行っているが、生徒を一堂に集めるような授業を積極的に進めていいかどうかは疑問。このような状況のなか、ビデオなどの教材があれば有効であると考えられるため、継続案件2については前向きに検討していきたい。進め方は、今年度は構想を練り、来年度に費用をかけて作っていく流れとしたい。また、MMということで、3つある授業のうち環境の教材作成から取り掛かり、それをベースに福祉授業に広げていきたい。</li> <li>・ 継続案件3について、コロナ禍のなか事業者へ伝えるタイミングについて引き続き検討したい。伝えることは現時点でも可能だが、事業者に対応して</li> </ul>

	<p>もらえる状況とは考えにくい。ただし、東戸塚駅の指摘については施設管理者が戸塚区・戸塚土木事務所のため、他とは独立して進めたい。</p>
(議事要旨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規案件①～③はコロナ禍の中の、公共交通に関する影響調査や市民への正しい情報の周知方法に関する提案である。このうち、情報分析等の学術的内容はこの部会では扱えないため、周知の仕方を考えていくべきである。情報を出す際も、事業者に不利益が無いよう配慮する必要がある。</li> <li>・新規案件④及び取組提案の例として事務局が示した「横浜市内おすすめバス路線コンテスト」については、マナーポスターコンクールの開催も小学生の夏休みの時間確保ができないなどの理由から中止になっているため、実施は困難な状況と考えられる。</li> <li>・新規案件⑤について、昨年度行ったシンポジウムのような1か所に人を集めて開催する形式を今後は見直し、オンラインを駆使した会議の方法を検討していくこととなった。テーマは必ずしも「移動行動と健康」に限る必要はないため、他の新規提案特に①～③とあわせ検討していくこととなった。</li> <li>・新規案件⑥については、コロナ禍で外国人観光客も来日できないことや、利用者をただ増やせばいいという状況でもないため、利用者の声を集め乗り方の課題を検証するには時期尚早と考える。</li> <li>・新規案件⑦については、ベイシティマップもあるため新規案件とはしないが、2020年版のベイシティマップができたことや、区別バスマップの更新作業の課題・新規作成等について情報提供を行った。</li> </ul> <p>・今後のMM部会の取組として、継続案件1～3と、新規案件①～③、また、情報発信の方法としてオンライン会議等の可能性を検討することとなった。</p>
(3) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策関連9月補正予算案について、事務局から説明を行った</li> <li>・次回はワーキングとして2か月後を目安に開催することとなった</li> </ul>